



THE WORLD JEWELLERY CONFEDERATION

2021-1

2021-02-04

シブジョ／真珠委員会

シブジョ 天然真珠及び養殖真珠 分類ガイド



画像はパーレーン王国文化省－人事、財務理事会用に準備された“母貝生息地モニタリングプログラム”

CIBJO真珠分類ガイドは重要な解説を強調し、その解説によりアコヤ集合体の天然真珠、シロチョウガイ養殖真珠の外観について述べ、物理的な寸法及び実際の品質を評価し、さらに他の多くの種類の天然真珠及び養殖真珠に関する情報を提供する。

天然真珠

天然真珠は人の関与なしに貝の内部で自然に形成された真珠袋の中で分泌された生成物である。天然真珠はコンキオリンと呼ばれる硬タンパク質とアラゴナイト（霰石）あるいはカルサイト（方解石）の形の炭酸カルシウムが同心円状に配列した形で構成される。天然真珠には真珠質のものあるいは非真珠質のものがある。

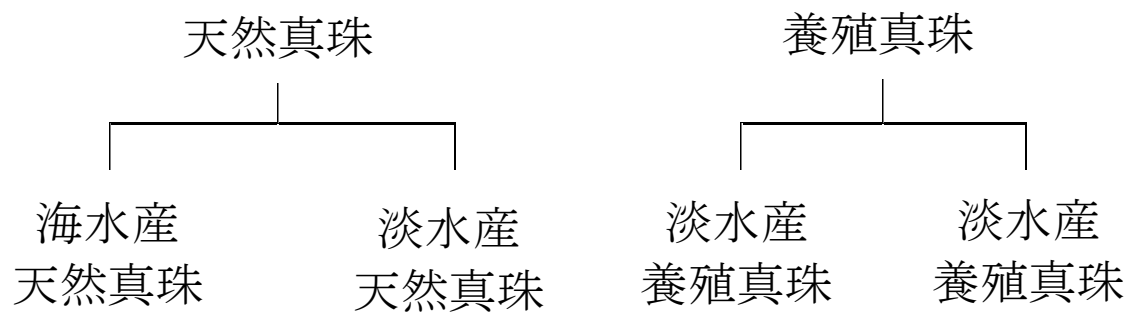
養殖真珠

養殖真珠は生きている貝の中で人が関与して貝及びその目的によっていろいろな条件下で養殖真珠袋の中で形成されたものである。養殖真珠には真珠質のものあるいは非真珠質のものがある。



アコヤガイ *Pinctada radiata* 天然真珠コレクション

真珠カテゴリー



真珠カテゴリー説明

天然真珠

天然の海水産、淡水産各種の貝から生成

海水産真珠

真珠貝、通常の食用貝、巻貝、アサリ、ホタテを含む種々の海水産貝類より生産

淡水産真珠

川、湖に生息する種々の淡水産貝類より生産

養殖真珠

養殖場の環境下で天然採苗、人工採苗で作られた海水産、淡水産貝類の中で生成。供与貝の組織から養殖真珠袋形成の結果その中で養殖真珠が形成される。真珠質成長の基質として核を使用。人の手により引き起こされる真珠は有核又は無核である

海水産 養殖真珠

主に3種の
真珠貝で生産

淡水産 養殖真珠

湖、川に生息する
ドブガイ、真珠貝
で生産

オリエンタルパール

「オリエンタルパールとは、伝統的に東洋（アジア、極東を含む）の海水性天然真珠の名称である。これらの真珠は、真珠の中でも最も美しいとされ、形や大きさも最も望ましいとされていた。真珠の"オリエント"とは、深みのある光沢と、半透明の"肌"から見える微妙な色を組み合わせた独特の外観のことである。

模造真珠

模造真珠は天然真珠、養殖真珠の外観を単に模した生産物である。これらは貝類の体内で生産されず、工場内で作られた製造物である

天然真珠、養殖真珠を産出する主要貝類

貝類の多くは真珠を産出する能力を有するが、特定の種のみ宝石として使用するに適した品質の真珠を産出することが出来る

海水産真珠層二枚貝－真珠層（時には非真珠層）天然及び養殖真珠を産出する貝類



低倍率（左）及び高倍率（右）の真珠層外観

真珠層は、天然および養殖真珠層真珠の生物由来物質である。真珠層は、アラゴナイト（炭酸カルシウム）の微細な板状の粒子が、コンキオリンと呼ばれる複雑な硬タンパク質の微細なネットワークと結合し、何層にもなっている。この特徴的な構造により、天然真珠や養殖真珠の内部からの光学的効果（オリエント、オーバートーン）が得られる。真珠層は真珠貝、その他淡水産二枚貝のような二枚貝、あるいはある種の巻貝の外套膜から分泌される。

Pinctada maxima

オーストラリアシロチョウガイ

成貝の大きさ：20cm～30cm オーストラリアの真珠貝は、主にシルバーリップ種であるが、ゴールドリップ種もある。世界の真珠貝貝殻供給量の75%を占める産地¹。天然真珠と養殖真珠両方の産地。世界最大級の真珠貝の1つ。北オーストラリアは商業的な量の天然シロチョウガイを最後に残している。



シルバーリップ



オーストラリア産シロチョウ有核養殖真珠。典型的サイズ帯：11mm～16mm、まれに20mmを超えるものもある。養殖期間は2～3年で、1貝あたり1核で手術が行われる。

オーストラリア無核養殖真珠（ケシ） 代表的なサイズ：シードパールサイズ（2mm以下）またはそれ以上、まれに15mmを超えるものもある。

オーストラリア産シロチョウ天然真珠。典型的サイズ帯：シードパールサイズ（2mm以下）またはそれ以上、まれに20mmを超えるものもある。

フィリピンシロチョウガイ

成貝の大きさ：20～30cm。世界最大級の真珠貝。天然真珠、養殖真珠両方の供給貝。天然貝もみられるが、養殖真珠に使用されている大半のものは人工採苗で育てられた間引きしない貝である。シロチョウガイ1貝から、一度に1個の有核シロチョウ養殖真珠が生産される。



ゴールドリップ



フィリピンシロチョウ有核養殖真珠。一般的サイズ：9～16mm、まれに18mmを超えるものもある。フィリピン海域のシロチョウ有核養殖真珠は、イエローが主流で、望ましい生産物として焦点を定めているゴールデンは比較的まれに生産される。

養殖期間は2～3年で、1つの貝に1つの核で手術が行われる。

フィリピンシロチョウ無核真珠（ケシ）。典型的サイズ帯：シードパール（2mm以下）サイズ以上、まれに10mmを超えるものもある。

フィリピンシロチョウ天然真珠。希少 - 典型的サイズ帯：シードパールの（2mm未満）サイズ以上で、10mmを超えるものは非常にまれである。

¹ 何種類かの貝類の内表面をコーティングしている滑らかで硬い虹色の物質で、アラゴナイト（炭酸カルシウムの一形態）の微小な結晶が有機コンキオリンとともに薄く堆積したもので、科学的には真珠層として知られている。通常、特定の貝類が作り出した天然真珠は、その貝の貝殻真珠層と同じ色組成と一般的な品質を持っている。



ゴールドリップ



アジアシロチョウガイ

成貝の大きさ：20cm～30cm。アジアシロチョウガイはゴールドリップとシルバーリップ種の混合である。これらの貝はインドネシア、ミャンマー、ベトナムで見られる。これらの地域で使用されるシロチョウガイのほとんどは、現在、人工採苗で飼育されたものである。浜揚げされる真珠の色や品質は、養殖場の特性に加え、個々の真珠養殖業者の技術や経験、貝の繁殖に割り当てられた資源、挿核及び管理プログラムなどの働きによって大きく異なる。

天然の母貝資源は枯渇している。

アジアシロチョウ有核養殖真珠。代表的サイズ：9mm～16mm、まれに20mmを超えるものもある。1貝に1個の核の作業。

アジアシロチョウ無核養殖真珠（ケシ）。典型的サイズ帯：シードパールサイズ以上、まれに10mmを超えるものもある。アジアシロチョウガイの天然真珠。代表的サイズ：シードパール以上、まれに10mmを超えるものもある。天然真珠は主にインドネシアの島々で見られる。

Pinctada margaritifera cummingi

タヒチクロチョウガイ



成貝サイズ範囲：10cm～20cm。黒い真珠層貝殻の供給源。クロチョウ天然、養殖真珠の供給源。自然の棲息地は中央太平洋のサンゴ礁や環礁を含む。多くの貝はフランス領ポリネシアで発見され、知られている。真珠の養殖に使用されるクロチョウガイはすべて礁湖で産卵されたものを養殖している。

“タヒチ”クロチョウ有核養殖真珠。代表的サイズ：8mm～

15mm、15mm～20mmのものは大粒と考えられ、ほんの少量しか生産されず、20mmを超えるものはまれである。

“タヒチ”と呼ばれる無核養殖黒真珠（ケシ）。典型的サイズ：シードパールサイズ、まれに10mmを超えるものもある。

天然黒真珠。典型的サイズ：シードパールサイズで、10mmを超えるものはまれである。

Pinctada margaritifera

フィジー真珠貝

成貝サイズ範囲：10cm～20cm。天然の生息地は、西太平洋の大きな山地の島々に囲まれた珊瑚礁である。安定した降雨量のある熱帯気候に適した、自然のままの栄養豊富な環境を必要とし、浮遊粒子状物質に対する高い耐性を持っている。フィジーの養殖真珠生産の大半は、人工採苗で補われた天然貝を採取したもので行われる。この生産は、環礁ではなく、大きな山間部の島々の大きな保護された湾を中心に行われている。



フィジー有核養殖真珠。典型的サイズ帯：10.0～13.0mmで、16mmを超えるサイズはまれである。ゴールド、コッパー、赤ワイン、ピスタチオ、パステルブルー、チョコレートなどの実体色を持つ"アースカラー"が主流である。

フィジー無核養殖真珠。典型的なサイズ帯はシードサイズから8mmである。

Pinctada radiata

ペルシャ／アラビア湾、セイロン真珠貝

成貝サイズ範囲：5cm～7cm。歴史的に小粒の天然真珠が大量に産出されてきた。天然の生息地は、スリランカ（セイロン）からペルシャ／アラビア湾までのインド洋。近年、この種による真珠養殖場がUAEやカタール、ペルシャ／アラビア湾の他の地域に設立されている。



天然湾岸（バスラ）真珠やセイロン真珠。典型的サイズ帯：1mm～5mm、まれに8mmを超えるものもある。

有核および不定形核の養殖真珠（生産量は比較的少ない）。典型的サイズ帯。4mm～8mm。

無核養殖真珠（ケシ）（生産量は比較的少ない）。典型的サイズ帯：シードパールサイズで、4mmまでのものもある。

Pinctada imbricata



大西洋真珠貝

成貝サイズ範囲：5 cm～7 cm。天然真珠のみの供給。バミューダ、フロリダから南アメリカまでの西大西洋に生息している。

ベネズエラ天然真珠。代表的サイズ帯：2mm～6mm、まれに9mmまでのものもある。

Pinctada fucata



アコヤ真珠貝

日本種：*Pinctada fucata* (日本では*Pinctada martensii*として知られている)。*Pinctada imbricata*の亜種とされることもあるが、現在は*P. fucata/martensii/radiata/imbricata*からなる種集団に移行している。

成貝サイズ範囲：8cm～10cm。天然真珠、養殖真珠両方の供給貝。自然界では日本から中国やベトナムなどの太平洋に生息している。アコヤ貝は120年前から真珠の養殖に使われている。20世紀のほとんどの期間、アコヤ貝真珠は日本でのみ生産されていたが、現在は中国やベトナムでも生産されている。

アコヤ有核養殖真珠。典型的サイズ帯：5mm～8mm、まれに9mmを超えるものもある。

アコヤ無核養殖（ケシ）。典型的サイズ帯はシードサイズ。アコヤ天然真珠。典型的サイズ帯：シードサイズ、最大8mmまで。

Pinctada mazatlanica



メキシコクロチョウガイ／ラパス真珠貝

成貝サイズ範囲：10cm～20cm。天然真珠、養殖真珠両方の供給貝（産出量は極めて少ない）。天然の生息地は、カリフォルニア湾（メキシコ）からペルーまで。

新世界の天然真珠。典型的サイズ帯：4mm～14mm。例外的に20mmまでのものもある。

新世界の有核、無核養殖黒真珠。典型的サイズ帯：4mm～12mm、例外的に20mmまでのものもある。

Pinctada maculata



ピピ真珠貝

成貝サイズ範囲：2cm～6cm。主に天然真珠の産出貝となる。太平洋、特にフランス領ポリネシアやクック諸島付近に分布している。

ポー・ピピ、単にピピ天然真珠。多くはブリスターあるいは遊離（囊）真珠で見つかり、一般的なサイズは1～4mmで、例外的に9mmに達するものもある。

ピピ半形養殖真珠。半形養殖真珠がピピ真珠貝の中でいくつか確認されているが、生産量は現在のところない。

Pteria penguin



マベ真珠貝

成貝サイズ範囲：8cm～25cm。

天然ブリスター、養殖半形（またはマベ）ブリスターを供給する。最近フィリピンで真円真珠の養殖が始まった。

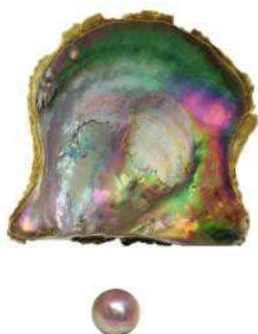
天然の生息域は、日本の奄美大島から太平洋、インド洋まで。日本では「マベ貝」と呼ばれる。

マベ（半形）養殖ブリスター。典型的サイズ帯：13 mm～15mm

マベ養殖真珠。典型的サイズ帯：7–12 mm

天然真珠。典型的サイズ帯：シードパールからそれ以上、まれに10 mmを超える。

Pteria sterna



レインボーマベ真珠貝

成貝サイズ範囲：8 cm～14 cm. 天然、養殖両方の真珠供給貝。自然の生息地はバハ・カリフォルニアからペルーに至る東太平洋。

新世界天然黒真珠。典型的サイズ幅：3 mm～6 mm、まれに11mm以上。

コルテス真珠™（有核）。典型的サイズ帯：8 mm～12 mm、まれに17 mmまで。

海水産真珠層巻貝－天然、養殖真珠層真珠産出貝類

Haliotis species



クジャクアワビその他

成貝サイズ範囲：7cm～20cm。天然真珠と養殖真珠（「マベ」と呼ばれることもある）の産出貝。南カリフォルニアからバハカリフォルニアにかけて（クジャクアワビ、アカネアワビ、スルスミアワビ）、ニュージーランド沖（ヘリトリアワビ）に生息している。アワビ種は、世界の多くの国で発見されており、クリームロゼ、深海ブルー、波のはなグリーン、なす色など、さまざまな色の真珠が生産されている。

クジャクアワビ、グリーンアワビ。7cm - 25cm、銅色のついた青と緑に赤紫が破裂したような色の天然真珠の産出母貝。メキシコの南カリフォルニアからバハ・カリフォルニアにかけての自然生息地、エラから水を排出するために、貝殻に5～7個の呼吸孔が開いている。

アカネアワビ（レッドアワビ）。最大で31cmに達する世界最大のアワビ種で、カナダのブリティッシュコロンビアからメキシコのバハカリフォルニアまでを自然生息地とし、エラから水を排出するため、貝殻に呼吸孔が殻に3～4個開いている。

ヘリトリアワビ（パウアシェルまたはレインボーアワビ）。自然生息地であるニュージーランドで最大のアワビ種で、最大サイズは18cmに達し、深いメタリックブルーとグリーンの色を呈し、エラから水を排出するため、貝殻に呼吸孔が開いている。

天然のアワビ真珠の大きさは、シード位ものから、非常に大きな角状のものまで様々である。

極めて大きなホーン型のもものでは70mm以上にもなる。

アワビ養殖ブリスターのサイズ帯は9から20mmである。

海水産非真珠層貝類－非真珠層天然真珠、養殖真珠産出貝類

Lobatus gigas (又は *Strombus gigas* として知られている)



ピンクガイ

成貝サイズ範囲：15cm～35cm この種は乱獲により商業的に脅かされているとみなされている。北アメリカと中央アメリカが原産のピンクガイは、フロリダとその周辺のアメリカ連邦水域での捕獲が禁止されている。

サウスカロライナからフロリダキーズまでの大西洋沿岸、カリブ海、バハマの水深0.3～18mに生息している。

稚貝は沿岸の海草地に、成貝は深海に生息する。

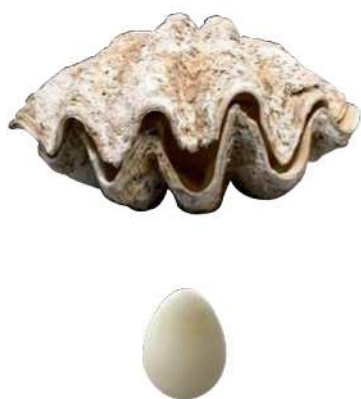
天然コンク真珠。典型的帯：3mm～8mm、まれに13mm以上のものもある。

養殖コンク真珠。現在は商品化されていない。典型的サイズ帯：3mm～8mm。

注：保護種-2016年3月10日から有効な「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」の付属書I、II、III参照。International Environment House - Chemin des Anémones - CH-1219 Châtelaine, Geneva, Switzerland, info@cites.org。

Tridacna species

オオジャコガイ



*Tridacna*は、海水に生息する大型の貝で、*Tridacninae*亜科の海水産二枚貝である。非常に重い襞のある貝殻を持つ。温暖なインド太平洋地域のサンゴ礁の浅瀬に生息している。

最も一般的に知られているのはオオジャコガイであるが、ヒレシャコガイをはじめとする他の仲間も真珠を産出することがあり、中には非常に大きなサイズのものもある。オオジャコガイは重さが225kg以上、大きさは120cmにもなる。

天然シャコガイ真珠。典型サイズ帯：3mm～140mmであるが、特にプリスターの場合はもっと大きいものがある。

注：保護種-2016年3月10日から有効な「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」の付属書I、II、III参照。International Environment House - Chemin des Anémones - CH-1219 Châtelaine, Geneva, Switzerland, info@cites.org。

Triplofusus species

フロリダホースコンク（ダイオウイトマキボラ）



*Triplofusus*は、小型から超大型の海水産巻貝で、その中でも*Triplofusus giganteus*（*Pleuroploca gigantea*またはFlorida Horse Conchでも知られている）は、通常ホースコンク真珠を強く連想させる。殻長は60cmにもなる。貝殻の色は、若い貝では明るいオレンジ色。成貝になると灰白色からサーモンオレンジ色になることが多い。

ホースコンク天然真珠。典型的サイズ帯：3mm～10mm、まれに40mmまである。



Mercenaria mercenaria

ホンビノスガイ



カナダ東部からフロリダにかけて生息し、ケープコッドからニュージャージーにかけて豊富に生息する真珠を産出する天然の二枚貝で、別名をハードシェルクラム、クワホッグといい、「**KO-HOG**」と発音される。厚くて重い貝で、一般的には楕円形をしており、紫色、ライラック色、白色など様々な色の縁取りがある。産出される天然真珠は、表面が磁器のようにになっている非真珠層のものである。もう一つの「現象」は、真珠の中心部の色が薄く、円周部の色が濃くなることで生じる「アイ効果」である。貝殻の色は、白、ライラックから深い紫までである。成貝のサイズ範囲：5cm～7cm。天然真珠のみの供給源。

クアホグ天然真珠。典型的サイズ帯：3 mm～8 mm

Melo species



メロ (*aethiopica*, *amphora* - 'baler shell'としても知られている - *broderipii*, *georginae* and *melo*)

成貝のサイズ範囲：15cm～40cm。天然真珠のみの供給源。生息範囲は、インド洋とオーストラリア北部の太平洋を含む。

メロ天然真珠。典型的サイズ帯：7mm～11mm、まれに30mmのものもある。

Nodipecten nodosus and *N. subnodosus* (イタヤガイ)

イタヤガイ真珠



成貝サイズ範囲：7cm～18cm。天然真珠のみの供給源。*N. nodosus*はアメリカ南東部からブラジル沖、*N. subnodosus*は中央アメリカ西部の水深25～150mの海に生息している。これらの貝の色は、その種類の多さと深みの点で特異的である。白色、ラベンダー、オレンジ色の3種類があり、貝殻の外側は数種の色合いの茶色で、チョコレート色と表現されることもある。

イタヤガイ天然真珠。代表的サイズ帯：シード～11mm、まれにこれを超えるものもある。

Pinnidae 科

タイラギ真珠



*Pinnidae*科の真珠（真円およびブリスター）は、「ペンパールまたはピニャパール」として知られていて、「ペン」は、歴史的な鷺鳥ペンまたは羽ペンに似た形に由来する。

*Pinnidae*科の貝にはアトリナ種や、*Pinna nobilis*、*Atrina vexillum*、*Atrina fragilis*、*Atrina pectinata*、*Atrina maura*、*Pinna bicolor*、*Pinna muricata*、*Pinna rugosa*、*Pinna rudis*、*Pinna rugosa*など、おなじみの*Pinna*種が含まれる。産出される真珠はほとんどが非真珠層真珠であるが、中には真珠層のものもある。



Nacreous



Non-nacreous

アフリカ南東部からメラネシア、ニュージーランド、北は日本、南はニューサウスウェールズまでのインド・西太平洋に広く分布している。また、地中海、紅海、アラビア湾にも生息している。サイズは通常10～60cm。

ペン天然真珠。代表的サイズ：シード～11mmで、これを超えるものもまれにある。

Spondylus species

ウミギクガイ真珠



*Spondylus*種の真珠は、特徴的なフレーム構造で知られており、しばしば青い光彩がある。

*Spondylus*の多くの種は、ホタテ貝と同じ上科に分類される。マガキとは近縁ではないが、足糸で付着するのではなく岩に固着するなどの習性を共にする。貝殻の2つの部分は、他の二枚貝のような歯型をした蝶番ではなく、ボールとソケット型の蝶番で結合している。

インド太平洋、紅海、地中海、アメリカ大陸に広く分布している。ウミギクガイ天然真珠。典型的なサイズ帯：5～15mm、まれに24mmのものもある。

淡水産二枚貝－真珠層（時には非真珠層）天然及び 養殖真珠

Hyriopsis cummingi



ヒレイケチョウガイ（三角貝）

成貝サイズ範囲：15cm～20cm 淡水産の貝。養殖真珠の産出のみ。中国やベトナムに自生していたが、日本に輸入され、日本産のイケチョウガイと交配され、現在霞ヶ浦で使用されている。

淡水産無核養殖真珠。典型的サイズ帯：3mm～15mm

淡水産有核養殖真珠。典型的サイズ帯：10mm～20mm

注：「スフレ」養殖真珠は、穴開け前は、有核と考えられていて、サイズは40mmにもなる。

Cristaria plicata



カラスガイ

成貝サイズ範囲：5cm～6cm。養殖真珠のみを産出。日本と中国の自然界に分布。

カラスガイ淡水有核、無核養殖真珠。典型的サイズ帯：3mm～5mm



重要：淡水真珠は、*Cristaria plicata*、*Hyriopsis cummingi*、*Hyriopsis schlegelii*、および*Hyriopsis cummingi*と*Hyriopsis schlegelii*の交雑種など、さまざまな種類の二枚貝によって生産される。中国では、*Cristaria plicata*と*Hyriopsis cummingi*が主に淡水真珠の養殖に使用されている。1990年代以前、日本の琵琶湖では淡水真珠の養殖に*Hyriopsis schlegelii*が使われていた。現在では、中国の*Hyriopsis cummingi*と日本の*Hyriopsis schlegelii*の交雑種が、中国と日本の両方で使用されている。

Margaritifera margaritifera



ヨーロッパ産カワシンジュガイ

成貝サイズ範囲：10cm～13cm。天然真珠のみの産出貝。現在、野生のカワシンジュガイ（*Margaritifera margaritifera*）は絶滅の危機に瀕していると考えられており、ほとんどの地域でこの貝の漁は禁止されている。ヨーロッパ、北西アジア、北アメリカ北東部に自然に生息する。

ヨーロッパ産淡水真珠：典型的サイズ帯：3mm～5mm

注：保護種-2016年3月10日から有効な「絶滅のおそれのある野生動植物種の国際取引に関する条約」の付属書I、II、IIIを参照。International Environment House-
Chemin des Anémones - CH-1219 Châtelaine, Geneva, Switzerland, info@cites.org

米国淡水産二枚貝－真珠層（時には非真珠層）天然、養殖」真珠



テネシー州のスリーリッジ
（*Amblema plicata*）と、その貝から出た天然真珠（半分は白、半分はピンクで真珠光沢あり）。

アメリカでは、川や湖に生息するいくつかの淡水産二枚貝が天然真珠や養殖真珠を生産している。

Ortmannania pectorosa



*Ortmannania pectorosa*または*O.ligamentina*（正式名称：*Actinonaias pectorosa*）は、天然の真珠を産出する貝で、別名フェザントシェル、カンバーランドマケットと呼ばれている。約14～15cmの大きなほぼ楕円形の厚い殻を持つ貝である。真珠層は青みがかったものからクリーム色、または銀白色で、縁には虹色の輝きがある。この種は、エルク川、テネシー川、カンバーランド川の流域に生息している。

Amblema plicata



*Amblema plicata*は、天然の真珠を産出する貝で、別名スリーリッジマッセル、ブルーポイント、パープルチップ、フルーターと呼ばれている。真珠層は真珠のような白さで、縁にはピンクや紫がかった虹色の部分がある。

*Amblema plicata*は、小規模から大規模の河川や貯水池に生息している。画像はDick Bigginsから引用。

Cumberlandia monodonta



*Cumberlandia monodonta*は、天然の真珠を産出する貝で、別名メガネケースとも呼ばれている。貝殻は細長く、通常は真ん中でつまんだようになり、ダークブラウンからブラックである。真珠層は白色で、真珠光沢がある。長さは最大でも17cm程度。水の流れが速い大きな川に生息している。

画像はMissouri Department of Conservation、Jim Rathertから引用。

Cyclonaias tuberculata



*Cyclonaias tuberculata*は、天然の真珠を産出する貝で、別名をパープルワーティーバック、ミズーリメープルリーフ、パープルピンプルバック、ディアホーンという。丸みを帯びた貝殻に、かなり突き出た翼があり、口先には細かい波状の彫刻が施されており、大きなものでは13cmにもなる。真珠層は通常、均一な深い紫色で、縁には虹色の光沢があるが、時には紫色を帯びた白色のものもある。

*Cyclonaias tuberculata*は、中流から大規模な河川に生息する。

Cyrtonaias tampicoensis



*Cyrtonaias tampicoensis*または*Tampico pearly mussel*は、天然の真珠を産出する貝で、外殻に目立った彫りはなく、貝殻の長さは130mm以上にもなる。色は黄褐色から黒褐色、黒色まで様々である。内部の真珠層は通常紫色であるが、多色の場合もある。真珠は真珠層と同じ色をしており、取引では「コンチョパール」と呼ばれている。生息地は米国テキサス州の比較的小さな川から大きな貯水池まで。ワシントン条約の付属書 I に記載されている。

Ellipsaria lineolata



*Ellipsaria lineolata*は、天然の真珠を産出する貝で、別名「バタフライマッセル」と呼ばれている。貝殻は三角形で平たく、後部の隆起は鋭角になっており、黄褐色で割れた茶色の放射線があり、真珠層は白や銀白色で虹色に輝いている。

*Ellipsaria lineolata*は大きな川に生息し、体長は最大でも7～10cmである。写真はusfwsmtnprrairie 6473796147からの引用。

Elliptio crassidens



*Elliptio crassidens*は、天然の真珠を産出する貝で、別名エレファントイヤ、ミュールズイヤ、ブルーハムと呼ばれている。重く、しっかりとした細長い貝殻である。真珠層の色は様々で、通常は紫、時にはピンクや白になることもある。

*Elliptio crassidens*は大きな川に生息し、最大の長さは14～15cmである。

Megaloniaias nervosa



*Megaloniaias nervosa*は、天然の真珠を産出する貝で、別名ウォッシュボードと呼ばれている。太くてしっかりした菱形の貝で、最大の長さは約25cmである。真珠層の色は白で、縁にピンクやサーモンの色がついている。

*Megaloniaias nervosa*はアメリカに広く生息している。有核養殖真珠の原料となる核の大半は*Megaloniaias nervosa*から作られている。20世紀後半、ケンタッキー湖のバーソングクリークでは、この貝で淡水養殖真珠や養殖ブリスターが作られた。

アコヤ集合天然真珠の分類

天然真珠の特性

23ページから33ページまでの説明と画像は、この素材のIPを所有する DANATが開発したもので、許可を得てここに使用している。

すべてのアコヤ集合天然真珠は、「5つの長所」と呼ばれる5つの特徴によって分類される。それはテリ、色²、キズ、形、サイズである。

しかし、養殖真珠に比べて希少性が高いため、これらの分類特性は養殖真珠のように厳しく批評されることはないことに注意が必要である。

テリと色の特性は、これらに影響を与える処理が施された場合、評価されない可能性がある。

² 一般に、真珠層天然真珠の色は、「ボディカラー」（パール的全体的な色）、「オーバートーン」（ピンク、ゴールド、グリーン、ブルーなど、天然真珠に付加的な色があること）、「オリエント」（真珠層天然真珠の表面で光の干渉や回折が起こり、虹色の繊細な色合いが出る光学現象）の組み合わせで表現される。

テリ

テリとは、光を反射したときの真珠の外観や輝きである。真珠の表面に映る光源の反射の鋭さによって判断される。テリは、鈍いものから非常に明るいものまで様々である。

用語

天然テリ

Excellent

Good

Fair

Dull

Excellent

反射は明るく、シャープではっきりしている



Good

反射は明るい、シャープではない



Fair

反射は弱くかすんでぼやけている



Dull

反射はぼんやりかすんでいる
又は反射が明確でない



Pinctada アコヤ集合体の天然真珠層真珠には、さまざまな色があり、伝統的で独特な地域名を持つものもある。

色

無処理天然真珠層真珠

すべての色にはオーバートーン又はオリエントを伴う、伴わないものがある

ゴールドデンからホワイトのクリームバリエーション



ゴールドデン



イエロー



ライトイエロー



クリーム



ライトクリーム



ホワイト



クリームピンク



ライトクリームピンク



ホワイトピンク



イエローグリーン



ライトイエローグリーン



シルバーホワイト



イエローブラウン



ライトイエローブラウン



クリームブラウン



パープルクリーム



ライトパープルクリーム

Palette 1—このパレットには他のボディカラーや色調のバリエーションを含み、必要に応じて追加される。

グレー及び他のカラーバリエーション



ブラック



ダークグレー



シルバー



ライトシルバー



パープルグレー



パープルシルバー



グレーピンク



シルバーピンク



パープル



ブルー



ブラウン



ライトブラウン



レッド



ピンク

Palette 2—このパレットには他のボディカラーや色調のバリエーションを含み、必要に応じて追加される。

キズ

分類

キズナシ: 珠表面は熟練者の肉眼でも非常に見えにくい微細キズを含むキズナシ。

小キズ: 熟練者が見ると表面に小さな凹凸があるキズ。

中キズ: 珠表面で感知できるキズ。

大キズ: 耐久性に影響を与えるような明らかな表面の凹凸キズ。

注：ドリル穴から離れたところにある目に見えるキズは、穴の近くにあるキズよりもキズの評価に影響する。

真珠のキズ

- ・隆起、みみずばれ
- ・変色：コンキオリンが付着して出来た斑点状のもの
- ・欠け、穴あき、真珠層の欠落
- ・シワ：真珠表面の不規則な隆起、折り目
- ・くぼみ、ピンホール
- ・えくぼ
- ・ダルスポット：真珠層のばらつき、化学物質との接触により光沢が著しく低下した部分
- ・割れ
- ・引っ掻きズ
- ・ギザギザズ



形

定義

丸

外観は目に対して丸くなければならない。また、平らな面を直線またはほぼ直線的に容易に転がるものでなければならず、寸法の違いは最小寸法の $\pm 5\%$ でなければならない。

部分的丸

外観は目に対して異形（ほとんど丸）にみえること。平らな面を転がしたときに、ほぼ一直線に転がり、寸法の差が最小寸法の5%以上であること。

ボタン

外観は、横から見ると片側が平ら、または平らに近い状態で、低いドーム型、または高いドーム型になっていることがある。平らな面、または平らに近い面を下にして平らな場所に置いたときに静止していること。

オーバル

外見的には、丸／断面（長さ方向）が丸で、通用細長い形状をしている。しかし、短いものも他の形状に分類することが難しいので、オーバルに見られる。

ドロップ

外観は、丸／断面（長さ方向）が丸で、通常は細長く、一方の端が他方の端よりも狭くなっている。しかし、短いものも他の形状に分類することが難しいため、ドロップに見られる。

バロック

多少非対称で、不規則な形をしている真珠。

ダブル

2つの真珠が1個のように成長したもの。

クラスター

数個の真珠が1個のように成長したもの。

ブリスター真珠

貝の分泌した真珠質あるいは非真珠質の分泌層を通り抜け、外套膜を突き破り、貝殻内壁に自然に固着した真珠。

形状一例

丸及び部分的丸

形状一丸



形状一部分的丸



ボタン



部分的ボタン



サークルボタン



オーバル



部分的オーバル



サークルオーバル



ドロップ



ダブルドロップ



サークルドロップ



ダブル



クラスター



バロック



部分バロック



重量及びサイズ

目の大きさがいろいろな篩を使って、天然真珠を大きなものから小さなものまで、さまざまなサイズに選別する。アコヤ集合体の真珠はしばしばChau（量）又はMethgalで販売される。

天然真珠の重さを表す国際基準は「グレイン」で、1グレイン=0.25ctである。

国際的比較重量

重量

カラット(ct)	➤ 1 ct = 0.2 グラム
Chaw	➤ carat x carat x 0.6518 (主にペルシャ/アラビア湾、インドで使用)
Methgal	➤ 4.5 grams (主にペルシャ/アラビア湾、インドでシードパールに使用)
Liang	➤ 1 liang = 250 ct = 50 グラム (主に中国で使用)

重量/価格計算

天然真珠の価格は、「1粒いくら」ではなく、「単価」と呼ばれる基準価格を用いた手の込んだ方法で決定される。真珠の重量を粒単位で二乗し、それに基準単価を掛けるという簡単な方法で算出される。

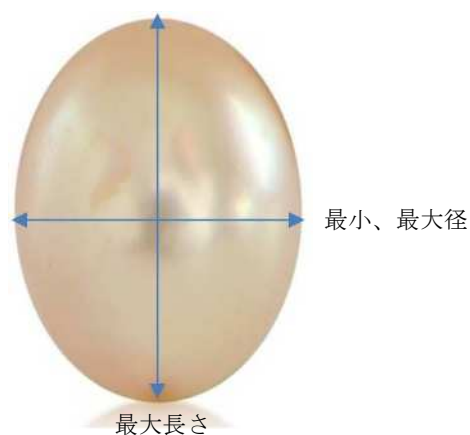
➤ グレイン×グレイン (単位例 1 シリング) -

計測

真珠の測定は一般にミリメートルで記録されるが、センチメートルで記録されることもある。どちらにしても、数値は小数点以下2桁までしか表示されない。

例 22.33mmまたはcm。

それぞれの場合で、最小径と最大径、最大長さを記録する。



海水産及び淡水産養殖真珠の 市場主要種類

市場主要養殖真珠5種類と、興味深い特徴を持つ3種類の真珠の種類、原産地、特徴、生産量などを以下に探る。



オーストラリアシロチョウガイ及びオーストラリアシロチョウ真珠



品種

シロチョウガイ： *Pinctada maxima* – 元来シルバーリップ、若干ゴールドリップを含む。

原産地

天然のシロチョウガイは、オーストラリア北部沖の孤立した地域にのみ豊富に生息している。

母貝特性

- ・ 真珠貝の中で最大、最も価値のある貝。
- ・ その大きさから伝統的に「真珠貝の王様」として知られている。
- ・ 典型的成貝の大きさ：20cm～30cm。
- ・ オーストラリア産はシルバーリップが主流であるが、ゴールドリップもある。
- ・ 自然の漁場環境と豊富なプランクトンを必要とする。
- ・ 主に深海に生息し、珊瑚礁では成長しない。
- ・ オーストラリアシロチョウ養殖真珠の生産の大部分は、ダイバーが採取した天然貝による。
いくらかの母貝は現在、天然貝を補充し、保護するために人工採苗で生産されている。
- ・ この種の貝殻真珠層は、どの真珠貝よりも上質で厚く、価値が高く、時計の文字盤や宝飾品など高価な真珠層製品の製造に世界の需要の75%を供給している。

養殖（有核、無核）真珠の特徴

- ・ すべての白系養殖真珠中、最大で最高品質、最高価格である。
- ・ 有核海水産養殖真珠の中では、真珠層が比較的（通常）非常に厚い。
- ・ 透明度の高い自然のテリと、「オリエント」と呼ばれるオーバートーン色を含んでいる。
- ・ ドロップ、オーバル、ラウンド、バロック、ボタンと幅広い形がある。
- ・ 主にホワイ系、シルバー系の養殖真珠を生産するが、自然の色調はホワイ系からゴールデン、ピンク、ブルー、グリーンに及ぶ。
- ・ 高品質のオーストラリアシロチョウ養殖真珠は処理を必要としないが、低品質のものには前処理が行われる。
- ・ 典型的サイズは直径11mm～16mmで、まれに20mmを超えるものがある。

生産

- ・ 有核真珠の養殖期間は2～3年。
- ・ 推定生産量は年約80万個。
- ・ 天然貝が養殖の約70%を占める
- ・ 世界の生産量の小売価格。約3億米ドル/年

フィリピンシロチョウガイ及びフィリピンシロチョウ真珠



品種

シロチョウガイ： *Pinctada maxima*

原産地

天然貝、人工採苗貝共にフィリピン。

母貝特性

- ・ 真珠貝の中で最大、最も価値のある貝。
- ・ その大きさから伝統的に「真珠貝の王様」として知られている。
- ・ 典型的成貝の大きさ：20cm～30cm。
- ・ フィリピン産はゴールドリップが主流であるが、シルバーリップもある。
- ・ 自然の漁場環境と豊富なプランクトンを必要とする。
- ・ 天然貝は部分的に涸渇している。この地域で真珠養殖に使用される多くのシロチョウガイは人工採苗である。
- ・ 主に深海に生息し、サンゴ礁では成長しない。

養殖（有核、無核）真珠の特徴

- ・ すべての白系養殖真珠中、最大で最高品質、最高価格である。
- ・ 有核海水産養殖養殖の中では、真珠層が比較的（通常）非常に厚い。
- ・ 透明度の高い自然のテリと、「オリエント」と呼ばれるオーバートーン色を含んでいる。
- ・ 最も貴重な色（ゴールド）のシロチョウ養殖真珠
- ・ ドロップ、オーバル、ラウンド、バロック、ボタンと幅広い形がある。
- ・ 母貝は圧倒的に人工採苗貝である。
- ・ 主にシャンペーン色からゴールドの養殖真珠を産出するが、天然の色幅はホワイトから種々の色調のゴールドである。
- ・ 典型的サイズは直径9mm～16mmで、まれに20mmを超えるものがある。

生産

- ・ 有核真珠の養殖期間は2～3年。
- ・ 推定生産量は年約100万個。
- ・ 世界の生産量の小売価格。約2.3億米ドル/年

アジアシロチョウガイ及びアジアシロチョウ養殖真珠



品種

シロチョウガイ : *Pinctada maxima*

原産地

母貝はインドネシア、ビルマ（ミャンマー）、ベトナム沖で作られる。

母貝特性

- ・典型的成貝の大きさ：20cm～30cm
- ・シルバーリップ、ゴールドリップの混在。
- ・貝の生存と育成のため、自然の漁場環境を必要とする。
- ・これらの海域の天然貝資源は大きく涸渇している。
- ・これらの海域で真珠養殖に使用されるシロチョウガイは現在すべて人工採苗貝である。
- ・良質の母貝ではあるが、厚みが足りず黄色味を帯びているため、多くの商業目的には好ましくない。

養殖（有核、無核）真珠の特徴

- ・主に色がクリーム～ゴールドの養殖真珠。
- ・母貝は人工採苗で育てた稚貝を湾内や外洋で養殖する。
- ・最も価値のある良質真珠は処理を必要としない。
- ・典型的サイズは直径8mm～13mmで、まれに16mmを超えるものがある。
- ・すべての天然、養殖真珠は、生物学的性質により時間の経過と共に色の外観が変化することが知られている。
- ・ドロップ、オーバル、ラウンド、サークル、ボタンと幅広い形がある。

生産

- ・有核真珠の養殖期間は1～2年。
- ・推定生産量は年間約300万個。
- ・世界の生産量の小売価格、約2.3億米ドル/年

タヒチクロチョウガイ及びクロチョウ養殖真珠



品種

クロチョウガイ : *Pinctada margaritifera cummingi*

原産地

タヒチ、仏領ポリネシア、沖縄（日本）、クック諸島及び他の太平洋諸島の報告あり。

母貝特性

- ・典型的成貝の大きさ：10 cm～20 cm.
- ・貝の生存と育成のため、自然の漁場環境を必要とする。
- ・天然貝の生息地は中央太平洋のサンゴ礁で、主に仏領ポリネシアに生息する。真珠養殖に使用されるクロチョウガイは礁湖にいる幼生から養殖される
- ・サンゴ礁や環礁の環境下でよく生育する。
- ・この種の真珠貝は黒、グリーン、シルバー、ブルー、ロゼなど幅広い色と色調を持つ貴重な上質の黒真珠貝である。
- ・この種の貝殻真珠層は螺鈿やボタン製造に貴重なものである。

養殖（有核、無核）真珠の特徴

- ・海水産黒真珠の主要品種。
 - ・天然の色はピーコック、チェリー、ナス、ブルー、ピスタチオ、ゴールド、シルバー、レッドの色調を含むホワイトからブラックに及ぶ。
 - ・良質のタヒチ養殖黒真珠は処理を必要としない。
 - ・典型的サイズ：直径4mm～15mmで、15～20mmが重要なサイズ帯である。20mmを超えるものの生産は低い。
- 全ての養殖黒真珠中生産量は最大で、ドロップ、オーバル、丸、バロック、ボタン、サークルがある。

生産

- ・有核真珠の養殖期間は2年。
- ・母貝は自然の環境下、コレクターで採取された幼生を育てる。
- ・推定生産量は年間約800万個。
- ・世界の生産量の小売価格：約2.3億米ドル/年。

フィジー真珠貝及びフィジー養殖真珠



品種

クロチョウガイ : *Pinctada margaritifera typica*

原産地

西太平洋の島々

母貝特性

- ・成貝の大きさ：10cm～20cm。
- ・西太平洋の大きな山がある島々に囲まれたサンゴ礁が生息地となる。
- ・熱帯雨林のような手つかずで栄養豊富な環境が必要で、浮遊粒子状物質に対して高い耐性を持つ。
- ・フィジーの養殖真珠生産の大部分は、天然稚貝の採取と人工採苗によるものである。この生産は環礁環境ではなく、より大きな山間部の島々にある大きな保護された湾を中心に行われている。
- ・母貝はその主に明るいオレンジ色の外套膜とユニークな柔らかい貝殻実体色を示している³。
- ・この種の貝殻真珠層は、希少な「アース色」の範囲を示す。商業的な貝殻真珠層の加工業者には必ずしも求められていない。

養殖（有核、無核）真珠の特徴

- ・現在、世界で生産されているユニークなナチュラルカラーのスペクトルを持つ海水産養殖真珠。ゴールド、コッパー、赤紫、ピスタチオ、パステルブルー、チョコレートなどのボディカラーを持つ希少な「アース」カラーが主体となっている。
- ・フィジー養殖真珠は、ピンク、ゴールド、コッパー、明るいグリーン、ブルー、バイオレットの色調を強いものから弱いものまで表している。また、特にサークルやバロックの珠では、2～3以上の色調を持つものを見ることが一般的である。
- ・真珠層の厚いことがフィジー養殖真珠のテリと真珠光沢の高さを証明している。
- ・真珠は丸、セミバロック（ドロップ、オーバル、ボタン）、サークル、バロック、無核（ケン）など幅広い形で養殖される。
- ・最初の核入時のサイズは平均10～11mmで、Dオペ時のサイズは平均11.5～13mmである。16mmを超えるサイズはまれである。
- ・フィジー養殖真珠には色処理は行われていない。

生産

- ・養殖期間は1～2年で、平均して4個の母貝から1個の割合で販売可能な真珠が生産される。
- ・母貝の希少性に起因し、年間最大50,000個と限定された真珠生産。
- ・希少性と色のユニーク性からフィジー真珠は、いかなる養殖真珠よりカラット/個当たりの高い値を得る。

³ 外套膜とは、軟体動物の器官の一つ。本体、つまり主要肉部を覆っている背面のカバーである。この器官の外側の表皮（殻に向かう面）から炭酸カルシウムが分泌され、殻が作られる。

メキシコクロチョウガイ/ラパス真珠貝及び新世界養殖黒真珠



品種

パナマクロチヨウガイ： *Pinctada mazatlanica*

原産地

メキシコ、パナマ、コスタリカ、ペルー

貝殻特性

- ・典型的成貝の大きさ：10～20cm。
- ・貝の生存と育成のため、豊かな生産的海の条件を必要とする。
- ・自然生息地は、海綿を含むポリテス珊瑚（*Porites* spp.）を伴う岩礁で、水深10cmから20mで見られる。
- ・この種の真珠貝は、グレー、ブラック、グリーン、バイオレット、ゴールデンなど、さまざまな色と色調の貴重な高品質貝殻真珠層を有している。ユニークな真珠貝素材を探している人々を可能にさせる。

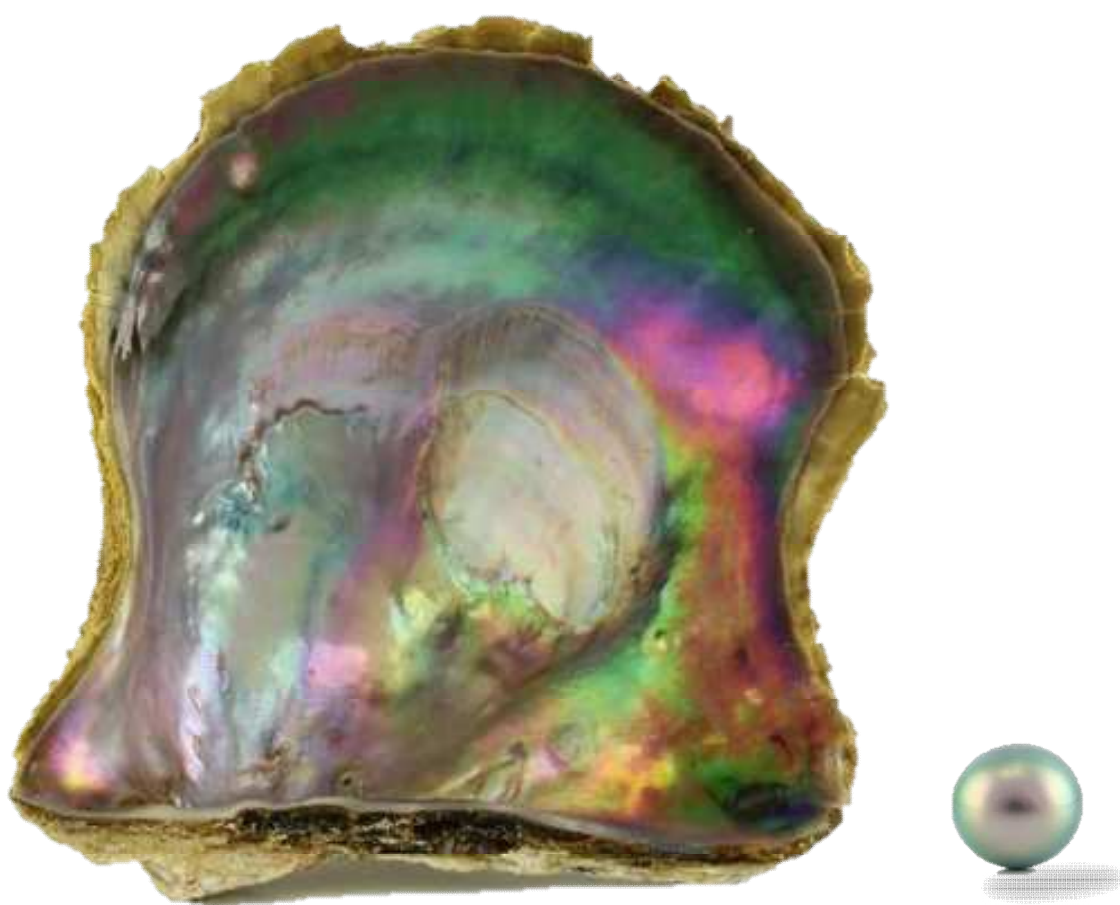
養殖（有核、無核）真珠の特徴

- ・養殖黒真珠の中でも非常に珍しい品種である。
- ・天然色は白から黒まであり、「ピーコック」グリーンやバイオレットの色調もある。
- ・新世界黒真珠の養殖真珠に加工処理は行われていない。養殖真珠のサイズは7mmから9mmである。
- ・形はバロックからセミバロックまであり、ラウンドは非常にまれである。

生産

- ・母貝1貝で1個の養殖真珠。Dオペはしていない。
- ・天然の幼生から育てた母貝を使用。
- ・生産量は年間100個以下。
- ・世界の生産量の小売価格は、年間10,000米ドル未満である。

レインボーマベ及びコルテス養殖真珠 (Cortez Pearl™)



品種

レインボーマベ : *Pteria sterna*

原産地

パハカリフォルニアからペルーに至る東部太平洋

母貝特性

- ・豊かで生産的な海洋環境を必要とする。
- ・この種は岩礁域に生息し、ゴルゴニアンコーラルと共生し、あるいは水深6〜30mの砂底に大きな「あいびき」群落を形成している。
- ・この種の真珠貝は貴重なものですが、貝殻真珠層が薄く、色もさまざまで、ホワイト、グレー、ブラック、グリーン、パープル、バイオレット、ゴールドンの色調を含む。

養殖（有核、無核）真珠の特徴

- ・養殖真珠の中でも非常に珍しい品種である。
- ・*Pteria*種の真珠貝で生産される唯一の養殖真珠。
- ・ピーコックグリーン、ゴールドン、ブルー、パープル、バイオレットの色調を含む、白から黒への自然な色の範囲。色調は劇的な3つの異なる色で表されることがある。
- ・無処理（色・テリ）。
- ・コルテス パール™は、見本市取引の ジェム リストに掲載されている。
- ・養殖真珠のサイズは、8mmから12mm。非常にまれな真珠は14mm、さらには17mmに達する。形状は、ラウンドからニアラウンド、バロック、ボタン、オーバルとドロップ、わずか2%が丸であり、セミバロック30%、他の割合はバロックである。
- ・養殖真珠は長波長紫外線照射でピンクレッドに輝くのが特徴である。
- ・厚い真珠層は、コルテス養殖真珠の高い自然な光沢と極端な真珠光沢を可能にする。
- ・コルテス養殖真珠は、セミバロック（ドロップ、オーバル、ボタン）、サークル、バロックなどさまざまな形で生産されており、完全な丸の真珠は年間収穫量の2%未満である。また、コルテス マベ養殖プリスターや無核養殖真珠（ケン）も数量限定で販売されている。

生産

- ・母貝1個で1個の養殖真珠。Dオペはしていない。
- ・母貝は天然の幼生から育てる。
- ・生産量は年間約4,000個ので安定している。
- ・世界の生産量の小売値は、年間240万米ドルと推定されている。

アコヤガイ及びアコヤ養殖真珠



品種

アコヤガイ : *Pinctada fucata*/ *Pinctada fucata martensii* (日本)

原産地

従来は日本のみで生産していたが、現在は中国、ベトナムでも生産されている。

母貝特性

- ・典型的成貝の大きさ: 5 cm～10 cm
- ・日本産アコヤガイは、四季を通じて貝殻真珠層が形成され、特有の光沢と色彩を持っている。新型の赤潮（1992年、1997年に英虞湾で発生）や感染症により、日本の養殖真珠産業は大きく衰退した。
- ・母貝のほとんどは人工採苗のものである。挿核手術まで2～3年養殖される。

養殖（有核、無核）真珠の特徴

- ・1906年以来、真円養殖真珠の元祖として知られている。アコヤ貝は、クラシックなラウンド型養殖真珠を世界に紹介した。
- ・多くのアコヤ養殖真珠は通常テリ出しと色の持続のため前処理が行われる。形は丸、ニアラウンド、バロック、セミバロックを含む。
- ・多くの母貝は人工採苗貝である。
- ・養殖真珠には特有の色とテリがある。

生産

- ・養殖真珠は、養殖期間が1年以内のものが多く、2～3年かけて養殖されるものもある。
- ・おおよその生産量は、日本産が22.5トン、中国産が2.4トン、ベトナムが2.6トンである。
- ・世界の生産量の小売価格は1億3,000万米ドル／年。

淡水産二枚貝及び淡水産養殖真珠



品種

淡水産真珠はカラスガイ（*Cristaria plicata*）、ヒレイケチョウガイ（*Hyriopsis cummingi*）、イケチョウガイ（*Hyriopsis schlegelii*）およびヒレイケチョウガイとイケチョウガイの交雑種を含む種々の母貝で生産される。カラスガイとヒレイケチョウガイは主に中国で真珠養殖に使用される。1990年以前、イケチョウガイが日本の琵琶湖で真珠養殖に使用された。今日では中国のヒレイケチョウガイと日本のイケチョウガイの交雑種が中国、日本の両方で使用されている。

原産地

主に中国の浙江、湖北、湖南、安徽、江蘇、江西地方で生産。

母貝特性

- ・成貝の大きさ：30cm。
- ・淡水の湖や池で生産される。
- ・餌にリン酸塩を添加する集約的な養殖方法により、中国の一部地域では深刻な水質汚染などの環境問題を引き起こしている。
- ・これらの種の貝殻は光沢が余りなく、宝飾品としての価値はない。

真珠特性

・カラスガイ

- ・生産される真珠はほとんど小さく表面には皺があり、取引ではしばしばライスクリスピーと呼ばれている。
- ・色はホワイト、クリーム、ライトピンクが主体。
- ・貝殻両側に各25個のピース挿入により、1貝から50個の真珠生産が可能である。

・ヒレイケチョウガイ、イケチョウガイ

- ・生産される養殖真珠は、ほとんどが異形からバロックで、完全な球形からの偏りが2%以下の形を実現できるのは1/10以下である。
- ・一般的なサイズは5mmから10mmで、極端なものは2mmから15mmまでである。
- ・代表的な天然色は、白、ピンク、オレンジ、クリーム、バイオレット、藤色である。まれに、黄色、濃い紫色、緑色などの色も産出される。
- ・1個の貝の片側貝殻にピースを16挿入するので、32個もの養殖真珠を生産することが可能である。

・ヒレイケチョウガイ、イケチョウガイ交雑種

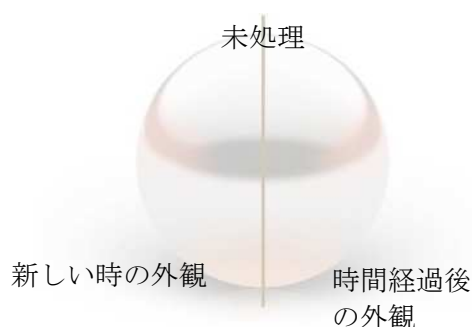
- ・交雑貝は、中国と日本で主に有核養殖真珠の生産に使用されている。
- ・交雑貝の使用は、今世紀に入ってから、中国で着実に増加している。蝶番の広い貝殻間のスペースは、大きい核の真珠生産を可能にしている。交雑貝は強い雑種強勢を示し、非交雑貝に比べてより強い色の真珠を生産することができる。
- ・交雑貝で生産された真珠は、濃い自然な色と自然なメタリック光沢を示すことが多く、非交雑貝による生産ではほとんど見られない特徴を持っている。
- ・**淡水産有核真珠**（母貝の外套膜中にすでに存在するパールサックに核を挿入、あるいは核と貝の外套膜組織を母貝の生殖腺に挿入することにより得られる真珠）
- ・主に中国の浙江、湖北、安徽、江蘇、江西地方で、日本では霞ヶ浦で限定的に生産が行われている。
- ・淡水有核真珠の取引名にはコイン、火の玉、エジソン、明、スフレ養殖真珠がある（スフレ養殖真珠は核が固形物ではなく、穴開時に取り除かれ、真珠内は空洞になる）。
- ・ヒレイケチョウガイで生産される有核真珠は、外套膜内で成長し、コイン型やバロック型が多いのが特徴である。
- ・一般的なサイズは5mmから15mmで、極端なものは3mmから25mmまでである。
- ・典型的な天然色は、白、ピンク、オレンジ、クリーム、バイオレット、藤色である。まれに、イエロー、暗紫色、グリーンなどの色も産出される。
- ・交雑種で生産される有核真珠は、母貝の外套内または生殖腺内で成長する。一般的なサイズは10mmから20mmで、大きいものでは40mmにもなる。
- ・淡水養殖真珠は、濃いナチュラルカラーとナチュラルメタリック光沢を持つものが多く生産されている。

生産

- ・1つの貝から一度に30～50個の真珠が生産されることもある。
- ・年間約1000～1500トン（8億～10億個の真珠）。
- ・世界の生産量の小売価格は年4億USドル。

養殖真珠の天然の色、テリ VS 処理した色、テリ

天然真珠、養殖真珠は色とテリを改良する目的で処理が行われる場合がある。



無処理珠

自然の色とテリの真珠

上質な真珠は、母貝から取り出された瞬間から魅力的な色と優れたテリを有している。このような真珠は、ジュエリーにする前にテリ出ししたり、色調を整える必要はない。

天然の美しさが長持ちし、改良の必要がない上質の真珠は、非常に希少価値が高く、その価値が反映される。

通常のパフかけや通常の研磨は、処理とはみなされない。



処理珠

真珠のシミを取り除いたり、色を変えたり、テリを向上させたりして、望ましい外観にするための処理を施したものの。

一般的に、低品質の真珠にはさまざまな加工が施され、ジュエリーに適した外観に改善され、より多くの市場に向けて手頃で入手しやすい製品が作られている。

軽度の化学処理を含む技術は、低品質の真珠の外観を改善することがある。このような処理により向上したテリは、一般的に時間の経過とともに薄れるが、真珠の構造にダメージを与えるものではない。過度の化学処理は、真珠の構造に悪影響を及ぼし、時間の経過とともに表面が荒れ、チョーク状の外観と感触を与えることがある。

消費者は、高価値の真珠に対しては、自然の色とテリの保証を求めるべきである。

養殖真珠の分類 真珠の品質特性

すべての養殖真珠層真珠は5つの価値として知られているテリ、色、キズ、形、サイズの特性でグレーディングが行われる



テリと色の分類¹は、処理と無処理の真珠を比較する場合、すなわち、天然の色、テリと処理された色、テリを比較する場合、異なる評価がなされる。

キズ、形、サイズの評価は無処理、処理同じである。

¹ 一般的に養殖真珠層真珠の色は、「ボディカラー」（養殖真珠の決定的な全体的な色）「オーバートーン」（通常ピンク、ゴールド、グリーン、ブルーなどの付加的養殖真珠の色）と「オリエント」（いくつかの真珠養殖真珠の内表面から光の干渉、回折によって引き起こされた繊細な真珠光沢色を作り出す光学的現象の色）の組み合わせで説明することができる。

テリ

無処理養殖真珠

自然のテリ

Excellent

Good

Fair

Dull

処理養殖真珠

処理済のテリ

Excellent Treated

Good Treated

Fair Treated

Dull Treated



EXCELLENT



DULL



Excellent

反射は明るくシャープではっきりしている

Good

反射は明るいがシャープではない

Fair

反射は弱く、かすんでぼやけている

Dull

反射がかすんで拡散している、または反射が見られない

注意：非真珠層養殖真珠（現在、実験的に養殖されているコンクパールのみ）は、真珠層養殖真珠とは組成の配列が異なる。その外観は真珠層というよりもむしろ磁器質であり、伝統的な意味でテリは表されない。非真珠層真珠は、その代わりに炎のような輝きの有無で評価される。

色

無処理養殖真珠

自然色
 シャンパン
 クリーム
 ゴールド
 ピーコック
 ブルー
 グリーン
 チェリー
 ピスタチオ
 茄子色
 ホワイトピンク
 シルバーピンク
 ホワイト
 シルバー

処理養殖真珠

処理色
 処理シャンパン
 処理クリーム
 処理 ゴールド
 処理ピーコック
 処理ブルー
 処理グリーン
 処理チェリー
 処理ピスタチオ
 処理茄子色
 処理ホワイトピンク
 処理シルバーピンク
 処理ホワイト
 処理シルバー



ホワイト

ピンク

シルバー

シャンペーン

ゴールド

ブラック

望ましい自然な色を持つ養殖真珠は、ほとんど色処理されない。自然な色を持つ養殖真珠は、人工的に着色された養殖真珠よりも価値がある。

あまり好ましくない、または人気のない色を持つ養殖真珠は、しばしば元の色を除去するために漂白される。染料、熱または他の着色技術は、真珠の色を改善するために使用される。養殖真珠は、真珠の連の色合わせを可能にするために、しばしば人工的に着色される。人工的な色は、時間の経過とともに退色することがある。

キズ

キズの分類は処理、無処理両方の真珠について同様に行われる



無キズ



大キズ



キズナシ

無キズの表面

小キズ

若干のキズ

中キズ

明白なキズ

大キズ

真珠の美しさを著しく損なうキズ

形

形の分類は処理、無処理両方について同様に行われる

対称形

丸
ドロップ
オーバル
ボタン
バロック

非対称形

部分的丸
部分的ドロップ
部分的オーバル
部分的ボタン
部分的バロック
バロック

サークル

サークル丸
サークルドロップ
サークルオーバル
サークルボタン
サークルバロック



ドロップ



オーバル



丸



ボタン



バロック



サークル



サークルのない養殖真珠は一般により価値があるとされているが、サークル珠は魅力的な個性を与える1本または複数本の溝のあるリングを持っている。

サイズ



測定単位に関する注意事項

養殖真珠のサイズは、最も広い横軸の長さをミリメートルで表し、より正確には、最も広い横軸、最も狭い横軸、最も長い縦軸の長さをミリメートルで表す。

養殖真珠の重さは、匁（momme）またはカラット（carats）で表す。

1匁＝3.75グラム

1カラット＝0.20グラム

ケシ養殖真珠

本来のケシ養殖真珠のサイズは“シードパールサイズ”で、生殖巣付近で見られ、アコヤガイの中で養殖手術の結果生じていた。

(右図－アコヤガイの生殖巣の一部にある多数のシードパールサイズのケシ養殖真珠)



偶然または意図せずに出来た海水産養殖真珠のうち、中心部に固形の核がないものを無核養殖真珠と呼ぶ。それらのあるものは一般にサイズが本来の意味を示すものとして日本語の「ケシ粒」に由来する「ケシ養殖真珠」として知られている。しかし、現在ではより大きな真珠も「ケシ」と呼ばれるようになっている。

現在、ケシ養殖真珠の大きさは、1mm未満から16mmまでが一般的であるが、それ以上の大きさのものもまれに見られ、これは非常に珍しいとされている。

最近のケシ養殖真珠のサイズは、シロチョウガイに見られるように大きくなっているが、なお生殖巣に近くで発見され、養殖手術の結果生じたものである(右図－シロチョウガイ生殖巣の部分にある大型のケシ養殖真珠)



最終ページ

謝辞

このガイドの原案は、ニック・パスパレー氏と ピーター・ブラッシャー氏 が率いる パスパレーチームによって作成された。天然真珠の分類セクションについては、CIBJO真珠委員会の協力のもと、バーレーン宝石及び真珠試験所のスタッフによって構想され、GPTLBの後身であるバーレーン真珠宝石研究所（DANAT）によって完成された。

本書への追加・編集において以下の方々が重要な役割を果たした。

編集長及びCIBJO真珠委員会委員長ケン・スカラット氏及び以下の諸氏の協力によるものである。

Abeer Tawfeeq, Andrea Broggian, Doug McLaurin, Elfriede Schwarzer, Fabio Damico, Gerard Grospiron, Gina Latendresse, He Ok Chang, Jacques Branellec, Jacques Christophe Branellec, James Paspaley, Jeanne Lecourt, Jean-Pierre Chalain, Jeremy Norris, Jeremy Shepherd, Justin Hunter, Karina Ratzlaff, Laurent Cartier, Loic Wiart, Margherita Superchi, Nick Paspaley, Nick Sturman, Olivier Segura, Peter Bracher, Pierre Akkelian, Pierre Fallourd, Roland Naftule, Rudi Biehler, Rui Galopim de Carvalho, Shigeru Akamatsu and Tom Moses.



*'Pearl Fishery, Torres Strait',
an 1886 engraving*